

雲北陵月報

No. 483

令和7年11月29日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

吹奏楽部
全日本マーチングコンテスト 銀賞!
合唱部
全日本合唱コンクール 銅賞!

第38回全日本マーチングコンテスト全国大会

時 11月23日
於 大阪城ホール

11年連続13回目となる全国大会に出場した。「全国金賞」を目標に掲げ、部員達は日々の地道な練習を積み重ね大会に臨んだ。

本番では凛とした姿で正統派の演奏演技を披露し、会場から大きな拍手をいただいて、銀賞を受賞することができた。



出場校の中では部員数が少ない状況ではあったが、大人数のバンドに比べても遜色のない堂々とした演奏演技であった。これも偏に日々様々な面で献身的にサポートいただいた保護者の皆様、応援してくれる卒業生、ご支援ご声援をいただいている地域の皆様のお蔭と感謝しております。本当に有難うございました。

(顧問 竹内康貴)

第78回全日本合唱コンクール全国大会

時 10月25日
於 富山市 オーバード・ホール

2年連続21回目の全国大会出場を果たした。今回のコンクールでは、今までチャレンジしてこなかったパレストリーナの曲を課題曲に選んだ。ラテン語の発音、4つのパートそれぞれの音楽の山の描き方など、最後の最後まで試行錯誤を繰り返しながら本番当日を迎えた。コンクール本番では、心地よい緊張感の中、自由曲も併せ今までの練習の成果を遺憾なく発揮することができた。しかしながら、朝一の出演は、ホールが冷え切っており、なかなか思うように声を響かせることができなかった。

結果は銅賞で残念な気持ちもあるが、多くの他団体の演奏を直接聞くことができ、改めて全国の壁の高さ、厚さを肌で直接感じることができた。今一度基本を大切にしながら、更に演奏のクオリティ、個人の技量を高められるよう練習に励んでいきたい。

(顧問 布野浩志)

女子ソフトテニス部

第80回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本ソフトテニス選手権大会

時 11月6〜8日
於 有明テニスの森

県の代表として、落合遥(23歳)・森田早貴(24歳)ペアが出場した。初戦を突破することはできなかったが、全国トップの試合を体感できる貴重な経験となった。

(顧問 金森 快)

なぎなた部

第52回中国なぎなた選手権大会

時 11月2日
於 鳥取県立武道館

【演技競技】 〈高校生の部〉

- 2位 曾田小夏(24歳)・安田結衣(23歳) チーム
- 3回戦敗退 吉田千秋(14歳)・齋藤桜生(13歳) チーム
- 岡田一之介(24歳)・田淵光流(24歳) チーム
- 〈中学生の部〉
- 1回戦敗退 江角 桃(中1)・手銭美乃(中2) チーム
- 〈個人試合〉
- 〈高校女子の部〉
- 優勝 安田結衣
- ベスト8 齋藤桜生
- 3回戦敗退 吉田千秋
- 2回戦敗退 曾田小夏
- 〈高校男子の部〉
- 3位 岡田一之介
- 3回戦敗退 田淵光流
- 〈中学生の部〉
- 2回戦敗退 手銭美乃
- 1回戦敗退 江角 桃、岩崎由佳(中1)

○大会総評

小学生から一般まで出場するこの大会で、演技の部で2位、個人では安田が優勝、岡田が3位であった。今大会での課題を今後の大会に生かしたい。応援有難うございました。

(顧問 井上美代)

テニス部

中国高校新人大会

時 11月15日
於 宇部市中央公園

〈男子ダブルス〉

- 1回戦敗退 渡部悠真(22歳)・高橋竜也(12歳) 組
- 小村奏太(14歳)・加地朔也(11歳) 組
- 〈男子シングルス〉
- 2回戦敗退 渡部悠真、高橋竜也
- 〈女子シングルス〉
- 1回戦敗退 石原麻帆(23歳)

○大会総評

男女部員5人全員が中国大会に出場した。全員初の中国大会のため、雰囲気などを体験できればと思いながら臨んだ。さすがに中国大会の壁は厚く、すべて初戦で敗退した。この経験値を次に生かし、来シーズンに向けてレベルアップして欲しい。遠方まで応援に駆けつけてくださった保護者の皆様に心より感謝申しあげます。

(顧問 石川剛巨)



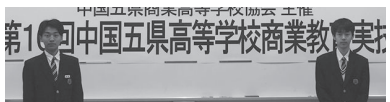
情報技術部

第16回中国五県高等学校商業教育実技競技大会(ワープロ競技)

時 11月15日
於 広島県立呉商業高等学校

個人競技に遠藤遼太郎(23歳)、水谷駿斗(24歳)の2名が出場した。中国エリアは山陽の実力校がひしめき合っており、本校生徒にとっては緊張と挑戦の大会となった。競技では、誰の手も借りずにパソコンの設定から印刷まで行う。緊張感に包まれた中で、2名は大舞台で競技したこと、また一つ成長できたと思う。今回の経験を生かし、次の大会へ向け精進していきたい。

(顧問 加納寛敏)



女子ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス新人戦

時 10月24～26日
於 江津中央公園テニスコート

〔団体戦〕優勝(3年連続3回目)

中国選抜大会への出場権獲得

団体メンバー 落合・森田・今田・水永・井上・牛尾・曾田・谷

2回戦

3-0 邇摩

3回戦

2-0 出雲商業

決勝リーグ①

3-0 浜田

決勝リーグ②

3-0 石見智翠館

決勝リーグ③

3-0 松江南

〔個人戦〕

優勝 水永成実(13歳)・今田 心(13歳)・ベア

2位 落合 遙・森田早貴ベア

3位 井上心々奈(23歳)・牛尾真緒(12歳)・ベア

B8 曾田珠凛亜(23歳)・谷 心愛(12歳)・ベア

※4ペアが県高校インドア大会への出場権獲得

○大会総評

個人・団体ともに上位を独占することができた。今後は全国選抜を目指して1月の中国予選に向け取り組みを強化していきたい。たくさんの方の応援・サポート有難うございました。



優勝した水永・今田ペア



団体戦優勝メンバー

第13回島根県シングルスソフトテニス選手権大会

時 11月2日

於 松江総合運動公園市営庭球場

3位 森田早貴、水永成実

5位 今田 心

※3名が来年度行われる全日本シングルス出場権獲得

○大会総評

実業団選手との対戦は貴重な経験となった。上位大会に向け精進したい。

(顧問 金森 快)

男子ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス新人戦

時 10月24～26日
於 石見海浜公園テニスコート

〔団体戦〕優勝(2年連続5回目)

中国選抜大会への出場権獲得

2回戦

3-0 矢上

準々決勝

2-0 大社

ベスト4リーグ

3-0 出雲工業

3-0 安来

2-1 松江工業

〔個人戦〕

2位 三島綾太(23歳)・山下柊人(25歳)・ベア

3位 高野幸大(23歳)・仲津想大(23歳)・ベア

B8 富岡光輝(23歳)・川原 真(24歳)・ベア

B8 高木映瑠(24歳)・木村一心(13歳)・ベア

B16 佐藤宏祐(14歳)・金森剛士(23歳)・ベア

B16 河野穂希(23歳)・三上瑛大(25歳)・ベア

杉本 風(12歳)・倉本晃汰(22歳)・ベア

※7ペアが県高校インドア大会への出場権獲得

○大会総評

全国選抜大会への最初の予選でもあり、連覇を目指して挑んだこの大会で団体優勝することができた。優勝決定戦ではファイナル試合を2試合制するなど、チーム一丸での応援を含め、これまで準備し

てきた技術以外の要素も発揮することができた。1月の中国選抜大会で優勝できるように、残りの期間でしっかりと準備していきたい。大会中、多数の保護者、OBの方々に応援していただき有難うございました。

(顧問 佐々木雄志)



団体戦優勝メンバー

卓球部

島根県高等学校新人卓球大会

時 10月24～26日
於 鹿島総合体育館

〔男子団体〕優勝(9年連続16回目)

順位決定リーグ

本校 3-0 松江高専

本校 3-0 明誠

本校 3-1 松徳学院

〔男子シングルス〕

優勝 三好蒼空(22歳)

2位 小林直喜(24歳)

3位 金丸 陽(22歳)

○大会総評

団体戦・個人戦ともに優勝を果たしたものの、全国の舞台で勝ち抜くためには更なるフィジカルの強化、技術の精



度、戦術の多様性が求められる。日本一を掴むために、妥協のない挑戦を続けていきたい。

(顧問 古瀬泰之)

男子バスケットボール部

島根県高等学校バスケットボール選手権大会

時 11月1・2日 8・9日
於 松江南高校体育館 他

2回戦

106-38 浜田

準々決勝

76-56 松江工業

準決勝

79-81 松江西

3位入賞

○大会総評

準決勝は松江西との試合になった。最大16点リードを奪ったが、終盤に気迫で詰められ、僅か2点差で惜敗した。

今年のチームは、県新人戦で決勝まで進んだが、松江西に敗れ優勝には届かず、県総体も準決勝敗退と思うような結果が出なかった。今大会も3位に終わったが、今大会こそ頂点をと、最後まで諦めず必死に戦った選手の姿は本校のバスケットボールを体現したと思う。

我々は全国の舞台で勝利を掴むことを目標にこれからも練習に励みたい。まだチームとして未熟だが試合や練習で選手としての立ち振る舞い、出雲北陵生らしさと伝統を大切に精進していきたい。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、本校教職員の方々、保護者の皆様、OBや女子バスケットボール部、その他たくさんの方々から多くの声援をいただき誠に有難うございました。

(顧問 手島幹人)

女子バスケットボール部

島根県高等学校バスケットボール選手権大会

時 11月1・2日
於 松江南高校体育館 他
2回戦 本校 66-58 出雲
準々決勝 本校 58-100 松江東
ベスト8

○大会総評

初戦の出雲戦からシュートが決まらず苦しい試合となった。後半徐々にシュートが決まり、何とか逆転することができたが、次の松江東戦では、その疲れから大差をつけられて敗退した。今後は新人戦に向け個々の課題を克服することが大切だと感じた。当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方々よりご声援いただき、誠に有難うございました。

(顧問 篠原勝利)

陸上競技部

第76回島根県高校男子駅伝大会

時 11月3日
於 出雲
混成チーム(42.195km・7区間)
2時間34分15秒 9位
1区(10km) 高橋優澄(25歳) 区間9位
3区(8.1075km) 高橋昂聖(23歳) 区間9位
4区(8.0875km) 飯島翔太郎(25歳) 区間6位

○大会総評

今年度の大会は浜山公園内において一周2kmのコースで実施された。本校は出雲高校、出雲農林高校の合同チームで出場したが、駅伝の柱ともいえる1区、次に長丁場の3・4区を受け持った。

昨年からの順調に力をつけた3名は今持っている力をしっかりと発揮した。この経験を最終学年となるシーズンに生かしていきたい。

(顧問 別所美喜子)

美術部

高文連出雲地区絵画コンクール

時 10月24日
於 出雲大社
本校から20名が参加した。快晴の写生日和となり、油絵や水彩で風景画に取り組んだ。4時間という短時間で一枚仕上げるコンクールのため大変だったが、生徒は楽しみながら真剣に制作に取り組んでいた。



参加した全員が入選し、6作品が特選に選ばれるなど、今後につながる良い結果となった。

インターアクトクラブ

高瀬川クリーン作戦

時 11月2日
於 出雲市内高瀬川流域
出雲南ロータリークラブが主催する「高瀬川クリーン作戦」があり、インターアクトクラブ生徒13名が参加した。

上流で川の水を止めて足首くらいまで水位が下がったところで、川底清掃をした。空きビン・空き缶・落ち葉などの小さなゴミから、流木といった大きなゴミまで、2・3キロほどの清掃区域の中で多くのゴミが集まった。



10年以上も続いている活動ということもあり、ゴミの量は当初に比べてかなり少なくなってきた。

急に秋めいてきて、冷たい川の中での2時間ほどの活動だったが、終えた時の気分は晴れやかで清々しくなった。

インターアクト指導者講習会

時 11月8日
於 松江テルサ 他

今年度のインターアクト指導者講習会は開星高校がホスト校で、県内のインターアクトクラブの生徒、顧問、提唱ロータリークラブの方々と合わせて40名ほどの参加者だった。



今回は「小泉八雲とセツの国際理解」というテーマで、小泉八雲記念館の小泉祥子氏の講演、現在放送中のNHK連続テレビ小説「ばけけ」について情報発信をしているNHK松江放送局での施設見学、松江ゴーストツアーの語り部である石垣猿之助氏による怪談話など、小泉八雲と妻のセツとの国際理解を中心に学ぶことができた。

今まで二日間で開催されていたが、今年から一日開催になった。タイトなスケジュールではあったが、実りある講習会だった。

吹奏楽部

高巣秋祭り「ふれあい音楽会」、佐田「ごっこ祭り」、いずも産業未来博

時 10月25・11月3・9日

於 高巣コミュニティセンター
出雲市役所佐田支所
出雲ドーム

標記の3つのイベントに出演させていただいた。いずれのイベントも多くの地域の方が参加されており、非常に盛り上がった会となった。

今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらぬ精進していきたい。

出雲ドームかみあり

吹奏楽フェスタ2025

時 11月1日
於 出雲ドーム

本年は、ゲストとして大阪府の箕面自由学園高等学校吹奏楽部の皆さんに出演いただき、チケットも完売となるなど、大変盛り上がった会となった。

本校は、今月末に行われた全国大会を前にしての演奏会であった。部員達は一丸となって練習に取り組み、全国大会では立派なパフォーマンスと演奏を披露した。

(顧問 竹内康貴)

人権教育HR実施

10月27日、1・2年生を対象に人権教育を実施した。1年生は「インターネットやSNS、携帯電話に潜む危険性を認識する」をテーマに、情報モラルを通して人権意識を高め、いじめや差別を許さない集団づくりを目指した。2年生は「人権の大切さを理解し、我が国の人権問題について正しい認識を身に付ける」をテーマに、一人ひとりができることを考え、問題解決に取り組む態度を育てるよう努めた。

意見交換を通じて生徒間で理解を深める場面もあり、本校の校訓「柔しく剛く(やさしくつよく)」を胸に、日々の学校生活で更に人権意識を高めていきたい。

第31回出雲北陵高等学校 英語レシーションコンテスト

時 11月2日
於 北陵ホール

31回目となる本校主催のレシーションコンテストが開催され、小学生の部に14名、中学生の部に22名の参加があった。島根大学外国語教育センター教授カーメラ・リスキー先生を審査委員長にお迎えし、厳正な審査が行われた。

入賞者は次の通り。
*団体賞(出雲市長杯)
出雲市立平田中学校〔初〕

*個人賞

〔最優秀賞〕
小学生の部 奥井太鳳(塩冶小4年)
中学生の部 江角心音(島大附属8年)

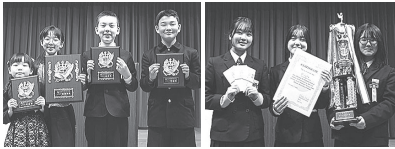
〔優秀賞〕
小学生の部 ランゲ桐真(城北小5年)
中学生の部 池尻 光(向陽中3年)
高橋 葵(平田中3年)

貝田りら(出雲三中3年)

〔奨励賞〕
小学生の部 鬼村唯斗(湖陵小5年)
奥井王都(塩冶小1年)

中学生の部 小村優実(平田中3年)
吉川 吟(湖陵中1年)
シヴィキング・一茶

(出雲北陵中3年)
吾郷和栞(湖陵中3年)
河瀬英真(平田中3年)



小学校の部受賞者の皆さん 出雲市立平田中学校の皆さん



中学生の部受賞者の皆さん

避難訓練

時 10月30日



今回は火災を想定した訓練が行われ、全校生徒が第一グラウンドに8分台で避難を完了することができた。避難確認後は、校長による講評や防災設備会社のお話の方による消防設備のお話などをしていただいた。また、中学生は消火器の使用方法を教わり、代表者が水消火器で模擬消火体験を行うなど、防災意識を高める良い機会となった。

企業ガイダンス

時 10月28日
於 本校

本校キャリア教育の一環として、2年生を対象に25職種参加による企業ガイダンスが行われた。生徒は各ブースを移動しながら、仕事のやりがいや苦労話、資格を取得するための上級学校の選び方などを聞き、将来の進路実現に向け実りあるガイダンスになった。最後にご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

職業人講話

時 11月11日
於 本校



出雲市商工振興部産業政策課との共催で高校1年生を対象に「職業人講話」を実施した。

今年度で3回目の実施となるが20職種の方々を講師とする生徒達は20分ずつ、4職種のお招きし、職業について熱心に傾聴した。なりたい職業、興味のある職業、初めて知る職業など、生徒にとってはこれから具体的に自分の職業を選択していく中で、「やりがい」や「使命」「責任」「社会への貢献」などを踏まえて自分の職業

を考える機会になったようである。講師の先生から具体的な職業の内容はもちろん、職に就くまでの歩みや、職業への思いも含めて熱く語っていただき、生徒の心に響く時間となった。今後の進路選択はもちろんのこと、日常の学校生活や学習にも、伺った話を踏まえて取り組んでくれることを期待したい。



中学校

卓球部

全日本卓球選手権大会(カデットの部)

時 11月1・3日
於 広島グリーンアリーナ

〔U14 男子シングルス〕

2回戦敗退 中司良心(中2三)

〔U13 男子シングルス〕

4回戦敗退 今福瀧司(中1門)

2回戦敗退 清水寛生(中2藍)

○大会総評
各選手ともランク入り(ベスト8)を目標に臨んだが、残念ながら及ばなかった。今後はもう一度基本に立ち返り、ミスの少ない緻密な卓球を目指して日々精進していきたい。(顧問 古瀬泰之)

東京・大阪・名古屋OP島根県予選会

時 11月24日
於 平田体育館

〔男子シングルス〕

優勝 中司良心(中2三)

2位 岡本悠希(中2社)

4位 今福瀧司(中1門)

6位 清水寛生(中2藍)

8位 住田光亮(中2西)

○大会総評

右記の結果及び本選推薦基準により、東京OPへ3名、大阪OPへ4名、名古屋OPへ5名の出場が決定した。

(顧問 相場翔太)

バスケットボール部

第4回島根県中学校新人バスケットボール選手権大会

時 11月1・8日
於 出雲市立第二中学校
出雲市立第三中学校
出雲市立斐川西中学校

〔男子〕

予選トーナメント

1回戦 本校 72-43 出雲一

ブロック決勝

本校 65-45 斐川西

予選トーナメント 1位通過

優勝 本校 51-38 BLAZE BULLS

決勝戦では、

気持ちのこもったプレーが

できた。ご声

援有難うござ

いました。



(顧問 多々納厚比古)

〔女子〕

予選トーナメント

1回戦 本校 108-42 河南中

2回戦 本校 103-48 出雲三中

予選トーナメント 1位通過

決勝 本校 55-26 IZUMO DREAMS

優勝(県新人戦出場決定)

○大会総評

課題は多く残るものの目標にしていた

優勝を果たすこ

とができた。よ

り一層厳しさを

持つ練習に取

り組みながら、

細部の徹底力を

磨いて県新人戦

での上位進出を

目指したい。ご声援有難うございました。

(顧問 和田拓真)



出雲科学館 理科学習(中学1年)

時 11月6日

「物質の姿と状態変化」のテーマで生徒45名が受講した。1時間目はサイエンスホールにおいて、液体窒素中で二酸化炭素が固体のドライアイスに変化する様子や、ガスバーナーで高温に加熱されたアルミニウムや食塩が液体に状態変化する様子を観察した。2・3時間目は実験室に移動し、水とエタノールの混合物を加熱し、出てきた物質を調べた。生徒達はグループで役割分担をして実験に取り組む、考察では積極的に発表を行って理解を深めていた。

小学生対象 体験講座

時 11月9日

11月9日(日)に体験講座を開催し、美術部と華道部の体験の場を設け、市内の小中学生に参加していただいた。また、併せて入学説明会と個別相談も行った。説明会にも多くの方に参加していただき、賑やかな1日となった。

第2回 合同道徳

時 11月17日

於 北陵ホール他
講師 水谷厚志校長
水谷厚志校長先生による合同道徳が行われた。



今回は、歴代の校長先生や多くの先輩が残された言葉、エピソードについてお話しいただいた。エピソードには中学生にもできることもたくさんあり、それぞれに心に響くものがあつたようだ。

【生徒の感想】

今回、校長先生はたくさんの人を紹介してくださいました。最初は水谷鑑先生の言葉で「心如清水」でした。厳しい状

況にあつてもそれに対応できる強い心をもってほしいという願いが言葉に表されていて心に刺さりました。

次に世界的に有名なエジソンが残した「1%のひらめきがなければ99%の努力は無駄である」という言葉です。ひらめきを大切にしたいエジソンは、常にメモをとる習慣があつたと言われます。前理事長先生(水谷勲先生)もメモ帳をいつも携帯されていたそうです。私もメモを取ることと努力することをしていきたいと思いました。

最後は、本校の創立者である水谷キワ先生が大事にしておられた「美点凝視」という言葉です。先生にとつて最後となつた卒業式で分かりやすく具体的に話されたそうです。それは人の悪口ばかり言わず、相手の良いところを見つけた方がよい生活を送ることができるといふことで私もそうしていきたいと考えました。

岡 しずく(中2班)

第2回 合同礼法

時 11月19日

於 北陵ホール
中学生全員を対象に、礼法主任である井上美代先生を講師として、今年度2回目となる合同礼法を開催した。

まず、創立者、創立記念日、校訓について生徒に質問しながら確認された。校訓「柔しく」は「他人の立場にたつて行動すること」であり、「剛く」は「自分に厳しく行動すること」であることを改めて学んだ。次に歴代校長の功績や校章の意味に触れられ、中学生の知らないことも多々あり興味を持って話に注目していた。最後に「自責」と「他責」について話され、何事も自分の責任として行動することや考えることの大切さを示された。

生徒達一人ひとりが、今回の合同礼法を通して自己を見つめ、一層成長してくれることを願っている。

オーストラリア語学研修旅行

中3年生

10/20~28



☆ブリスベン市内観光の様子



☆現地校との交流



☆ブリスベン空港にて

オーストラリア語学研修旅行を終えて

時 10月20~28日
於 ウィズダム・カレッジ

昨年に引き続き、クイーンズランド州・ブリスベン市にある「ウィズダム・カレッジ」に出かけました。海外が初めての生徒も多数おり、出発前は、生徒だけでなく保護者の方にも心配や不安な様子が見られました。しかし、大きな怪我や病気もなく、お互いに協力しながら全員無事に研修旅行をやり遂げられたことは何よりも良いことでした。

初日はブリスベン市内を観光し、いつもとは違った街並みや食を存分に堪能している様子でした。ホームステイでは、緊張した面持ちでしたが、ホストファミリーの温かさや優しさに触れ、培ってきた英語力を試しながら有意義な時間を過ごすことができました。学校ではバディと一緒に授業を受けたり、空き時間にはスポーツや会話を楽しんだり、短い時間の中で深い交流ができました。放課後にはアレックス先生による、工夫とユーモア溢れる英語の授業を通して、オーストラリアについて学ぶことができました。最終日には教頭先生から修了証をいただき、その後のお別れパーティーでは日本の伝統的な遊びについて実技を踏まえながら英語で紹介をしました。

この研修旅行を通して、目の前の問題を一つひとつ何とか乗り越えていく過程が、生徒達にとって大きな自信と充実した達成感に繋がったように思います。そして、全ての経験がこれから先の明るい未来を創る力になった。保護者の方々をはじめ、多くの皆様のご支援のお陰です。誠に有難うございました。

(中学3年担任 和田拓真)

作品と研究

令和7年度

秋季写真コンクール

特選作品集

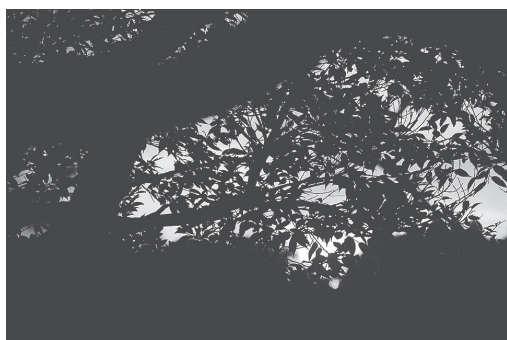
「私」

エトウソガ
リエ
(1-2
出)



「こぼれる秋」

持田
一真
(1-3
平田)



「泡に込めた想い」

安食
有紗
(1-3
出二)



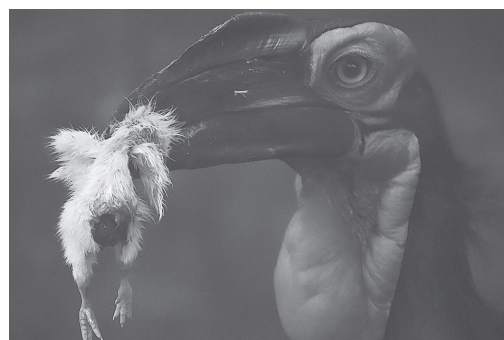
「光雨」

勝部
紫帆
(2-5
平田)



「晚餐」

水口
笑奈
(2-3
平田)



「見えない優しさ」

勝部
紫帆
(2-5
平田)



今月の
1枚

高文連出雲地区絵画コンクール 特選

並松
夕子
(2-6
出三)

